

国際バカロレアの導入に向けた検討委員会 報告書について

第1 国際バカロレアの概要

掲載頁：1頁

- 国際バカロレア機構が認定した学校で学び、統一試験に合格することで、国際的に認められる大学進学資格（フルディプロマ）を取得できる仕組み

第2 国際バカロレアを巡る最近の動向

掲載頁：3頁

- 教育再生実行会議 第三次提言（平成25年5月28日）
国は、国際バカロレア認定校について、一部日本語によるディプロマ・プログラムの開発・導入を進め、大幅な増加（16校→200校）を図る

第3 国際バカロレアの導入に向けて

都立高校において国際バカロレアを導入する目的

掲載頁：5頁

- 国際社会の様々な場面で自信と誇りをもって外国人と英語で対等に渡り合い、リーダーとして活躍し得る人間を計画的に育成していく必要
- 海外大学進学を目指す強い意欲と高い資質を有する生徒を、都立高校の中で鍛え、海外大学に送り出し、世界各国から集まってくる優秀な学生と厳しい環境の中で切磋琢磨させる必要
- 海外大学への進学資格が取得できる都立高校初となる国際バカロレアの認定の取得を目指す

導入の基本的枠組み

掲載頁：6頁

導入する学校 導入の形態	・都立国際高等学校において、国際バカロレアの教育プログラムを実施する新たなコースを設置
募集人員の規模	・1学年25人(3学年合計75人)
対象とする生徒	・中学校の生徒、海外帰国生徒、外国人生徒
授業での使用言語	・原則、英語による授業(国語、日本史などを除く)
授業形態	・日本人教員とネイティブ教育スタッフによる少人数指導

・今後のスケジュール（予定）

平成26年度	平成27年度	平成28年度
一部の科目で 英語 による授業を開始	国際バカロレア認定の取得 一期生入学	国際バカロレアの教育 プログラムによる授業を開始

教育目標

掲載頁：6頁

- 困難な課題に果敢に立ち向かうチャレンジ精神と行動力、高い志と使命感をもち、国際社会で活躍し広く社会に貢献できる人材を育成
- 多様な教育活動を通じて自ら主体的に学ぶ意欲と探究心を培うとともに、高い知性と幅広い教養、自らの意見を的確に発信する力、鋭い国際感覚、深い洞察力、豊かな人間性を育成

特色ある教育活動

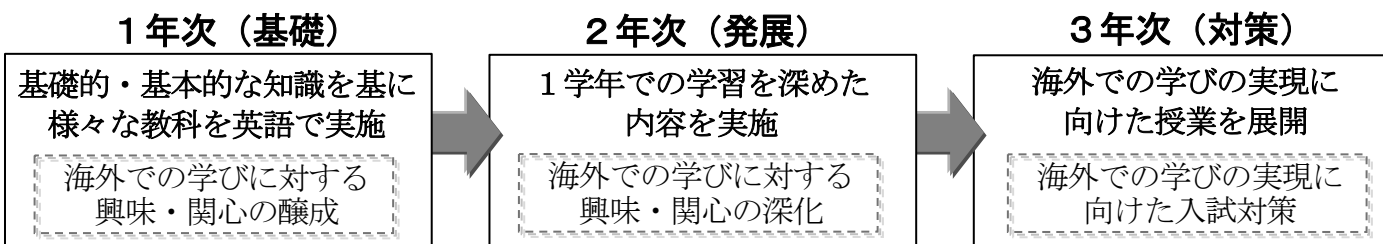
掲載頁：9頁

- 確かな学力と優れた言語力、論理的な思考に基づく表現力の育成
- 創造力・行動力・奉仕の精神、健全な心身を育成する活動の充実
- 日本の伝統・文化理解教育と国際理解教育の推進 など

英語による授業（平成26年度から開始）

掲載頁：11頁

- 英語による授業の受講を希望する生徒を対象とした選択科目を設置（設置する科目の例：世界史、数学、物理など）



国際バカロレアの教育プログラムによる授業

掲載頁：12頁

- 平成27年度から新たに設置するコースの生徒を対象
- 1学年から英語によるディスカッションなどを取り入れた授業を実施
- 2、3学年において国際バカロレアの教育プログラムによる授業を実施
- 日本史の学習や、日本の伝統・文化教育を実施

<設置する科目の例>

6つのグループと要件		設置科目の例
グループ1	言語と文学	言語と文学（日本語、英語）
グループ2	言語習得	語学（英語、日本語）
グループ3	個人と社会	地理、歴史、経済
グループ4	科学	物理、化学、生物
グループ5	数学	数学
グループ6	芸術又は選択科目	美術、その他選択科目
要件		課題論文、奉仕活動など

(※) 異文化理解や国際理解を進めるため、歴史を必修

入学者選抜に関する基本方針

掲載頁：16頁

- 海外大学進学に向けてフルディプロマの取得を目指す強い意志や意欲をきめ細かくみる
- 英語運用能力や数学的な見方や考え方、探究心、思考力、判断力等をきめ細かくみる